

一 般 質 問

令和8年第3回九戸村議会定例会

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 中 村 國 夫	1 小中学校の再編と九戸村の未来について	(1) 本村は人口減少、少子化が急激に進む中で、小中学校再編問題はまちづくりに大きな影響を与えると考える。将来の九戸村の発展には、教育環境も整備されている現九戸小学校敷地を新校舎建設候補地とすることで、用地などのコストが縮減されることから、現九戸小学校敷地を活用することが最適ではないかと考えるが、この点について村長に伺う。	村 長
		(2) 6月定例会行政報告において、村長は学校建設用地を九戸中学校敷地内とする方針であると発言があったが、村民に対し、全体のビジョンを示し、学校の新設場所の候補地が九戸中学校敷地内でなければならない理由を説明すべきだと考えるが、この点について村長に伺う。	村 長
		(3) 村長は移動村長室により小中再編について住民説明会をされたが、建設等に係る事業費は示されていない。建設に係る財源を含め総事業費について伺う。	村 長
		(4) 住民説明会の出席者が少ない状況下で村民の意思を把握するには不十分であると考え。日頃から、村長は村民に懇切丁寧な行政を推進すると発言されていることから、村民の理解を得て最重要課題である小中学校再編問題を推進していくためにも、アンケート調査を行うべきと考えるが、村長に伺う。	村 長

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2 男女共同参画について	(1) 村の男女共同参画に対する基本姿勢について伺う。 (2) 本村における各種審議会、委員会等女性委員の登用状況は、現在どのような状況になっているのか伺う。 (3) 今後の目標値の設定と人材育成についての考えを伺う。	村 長 村 長 村 長
	3 全国学力・学習状況調査テストについて	(1) 令和8年度の全国学力・学習状況調査テストの結果についてどのように受け止めておられるのか伺う。 (2) 今後の課題についてどのように考えておられるのか伺う。 (3) 今後の本村の教育の方向性についてどのように考えておられるのか伺う。	教育長 教育長 教育長

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2 久 保 えみ子	1 物価高騰対策について	(1) 村民も事業者も物価高騰に苦しんでいる。村民からの要望で今年も動力光熱費や諸材料費や飼料費なども支援の対象にしてほしいと声が寄せられている。経営を継続できるように支援を強化する必要があると考える。見解を伺う。	村 長
	2 移動村長室で示された義務教育学校の問題について	(1) 移動村長室の中で保護者や住民から求められた住民アンケートの実施や子どもの意見を聞くことや、新築の場合の予算を示すべきなどについていつどのように実施していくのか伺う。	村 長
		(2) 説明会で配布された「義務教育学校」の資料について、普通の小学校や中学校と比較して実証されたものか、実証されているとすれば「いつ、どのように実証されたのか」伺う。	教育長
		(3) 説明会で1学年が1クラスの中学校になる場合について生徒が受けられなくなる教科の問題が説明されたが、受けられなくなる教科が発生するのか、また、生徒にとって教育環境が劣る体制が発生するのか伺う。	教育長
	3 学校長寿命化改修の制度の活用について	(1) 文部科学省は従来のように建築後 40 年程度で建て替えをするのではなく工事費用の縮減、工期の短縮が可能で建て替えた場合と同等の教育環境の確保が可能となる長寿命化改修の制度を創設した。現在の九戸小も九戸中もこの制度が活用ができると思われる。義務教育学校だけにこだわることなく住民合意を重視してこの制度の活用についても十分に検討する必要があると考える。村長の見解を伺う。	村 長

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4 施設一体型義務教育学校とはどのような学校かについて	(1) 義務教育学校は、入学してから卒業するまで9学年が同一の学校で一緒に生活することになり、そして卒業式もなくなり、中学校の入学式もなくなり、区切りがないことによって子どもの成長にとって問題があるということが分かってきている。こうした義務教育学校の問題についてどのような認識を持っているのか伺う。	教育長

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3 坂 本 豊 彦	1 「小・中学校の再編」について	(1) 令和8年5月に、村内11カ所で小・中学校再編方針（案）説明会が開催され、村民の皆様からさまざまな意見が出され、令和8年第2回定例会の行政報告で、村側から現在の九戸中学校敷地内に施設一体型の義務教育学校の整備方針が示されたところだが、現在の進捗状況と今後どのように進めていく考えか、村長の所見を伺う。	村 長
	2 村営くのへスキー場のあり方について	(1) 村では、村営九戸スキー場の存続・廃止を含めた将来のあり方について、幅広い見地から総合的に検討するため、村営くのへスキー場のあり方検討委員会を設置し、村長の諮問に応じて、調査・検討を重ね、8月10日に最終の答申が出された旨、新聞報道でも示されているところである。答申内容は、当面の間、村営くのへスキー場を存続すべきとの内容と伺っているが、そこで、以下の2点について、村長の見解を伺う。 ① 答申内容をどのように受け止めているのか。 ② 令和8年度のシーズンの営業の可否はどうなるのか。	村 長